

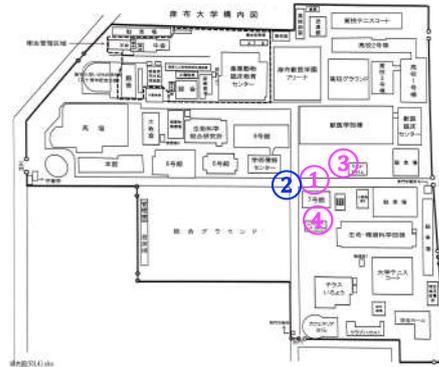
#キャンパスで観測：気象の連続自動観測@麻布大学

【目的】

キャンパスでの気候・気象の実態を把握する

- 気候・気象の生物影響の評価
- 気候・気象の健康影響の評価

【設置場所】



【気象の連続自動観測システム】

●観測場所・期間

番号	観測期間	気温	相対湿度	土壌水分	日射量	黒球温度	土壌温度
①草地角	2021.9.28 ~ (現在)	○	○	—	—	—	—
	2022.4.27. ~ (現在)	—	—	○	—	—	—
②木陰	2022.4.28 ~	○	○	—	—	—	—
	2022.11.17	—	—	—	—	—	—
③草地中央	2022.7.21. ~ (現在)	○	○	—	—	—	—
	2022.9.1. ~ (現在)	—	—	○	—	—	—
④7号館南	2023.11.24. ~ (現在)	○	○	○	—	—	—
	2023.7.21. ~ (現在)	—	—	○	—	—	○

●観測機器の仕様

メーカー: HOBO社

データロガー:

①②④

USBマイクロステーションロガー(H21-USB)

動作環境: -40°C ~ 70°C

電源: 単三電池 × 4本

③

リモートロガー(RX3000)

動作環境: -40°C ~ 60°C

電源: 太陽電池パネル(SOLAR-15W)

センサー:

種類	型番	計測範囲	計測精度	その他
温度	S-THB-M002	温度: -40°C ~ 75°C 湿度: 0~100%	温度: ±0.2°C(0~50°C) 湿度: ±2.5%(10~90%)	応答速度: 温度=5分 湿度=8分
	S-SMC-M005 S-SMD-M005	0 ~ 0.550m ³ /m ³ 0 ~ 0.570m ³ /m ³	±0.031m ³ /m ³ (0~50°C) ±0.033m ³ /m ³ (0~50°C)	プローブ長: 89mm プローブ長: 180mm
光量子	S-LIA-M003	0 ~ 2500µmol/m ² /s (400~700nm)	±5µmol/m ² /s または ±5%	プローブ径: 32mm
黒球温度 (黒球)	S-TMB-M006 (CK-150 安藤計器)	-40°C ~ 100°C	±0.2°C(0~50°C)	応答速度: <3分 (直径: 150mm)
土壌温度	S-TMB-M006	-40°C ~ 100°C	±0.2°C(0~50°C)	応答速度: <3分

●観測の間隔: 30分



データ回収



土壌水分計の設置



【今後の展開】

- 気候変動の実態把握の教育研究
- 気候変動の生物影響評価
 - ・自動気象連続観測データと生物季節観測結果との比較
 - ・キャンパス内の動植物の動態と気象との関係
- 気候変動の健康影響
 - ・熱中症と暑さ指数の関係
 - ・レジオネラ症発症数と気候変動の関係
- データサイエンス教育へのデータ活用